

国際協力の現場を語る

JICA (ジャイカ: 国際協力機構) は、開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア (40歳~69歳) を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違ったいろいろな体験をしてくれています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日 時: 毎月第3水曜日 15時30分~17時
 会 場: JICA 横浜 会議室またはセミナールームなど
 会 費: 無料 (どなたでも自由に参加出来ます)
 主 催: NPO「シニアボランティア経験を活かす会」
 後 援: JICA 横浜



(やむを得ず日時・会場が変更される場合があります。事前にシニアボランティア経験を活かす会ホームページまたは下記問い合わせ先に確認して下さい)

問合せ先: 横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 3階 国際協力連絡室内
 シニアボランティア経験を活かす会 神奈川分科会
 Fax: 045-663-3263 担当: 臼井道雄 (045-891-5490)
 URL jicasvob.com E-mail info@jicasvob.com

赴任国 (講師名)	「タイトル」講演概要	
第103回 3月19日 (水) ブータン (圓谷哲夫)		「幸福な国でのゴミ問題」 国の目標を、国民総生産量 (GNP) の経済的な指標でなく国民の幸福量 (GNH) という物質の豊かさから精神的という今までの価値観とは異なる政策にした国ブータン。 幸福量と首都ティンピー市での政策とは相反する経済の発展に伴い大きな社会問題となってきたゴミとその処理について。
第104回 4月16日 (水) ネパール (井沢孝次)		「IT 教育は受けたが仕事がない、こんなネパールでの IT 講師体験記」 ネパールの技術専門学校で、卒業演習を通して IT の実技指導を行った。しかし、いくらスキルを身につけさせても、受け皿の産業が弱体のため就職先が殆どないというのが現状である。このような中で、卒業生の就職斡旋を通して IT 産業界と交流を深め、産業振興に向けた課題と対応について議論した。これらについて報告する。
第105回 5月21日 (水) ボリビア (島田 剛)		「帰国報告 (ボリビア)」 南米、ボリビア多民族国の憲法上の首都スクレ市での2年半に亘る活動を報告します。スクレ市上下水道公社の水質試験ラボにおける検査能力向上と検査結果の信頼性確保システムの構築に尽力した。新たに金属分析体制を整え優良試験所規範の土台を配属先の人々とともに築いた。
第106回 6月18日 (水) カザフスタン (佐藤洋一)		「カザフスタン (医療機器)」 1999年日本政府はカザフスタンに14億円の医療器材を無償供与した。2006年このフォローアップ調査のため、専門家が派遣された。アルマトィ州内の病院を回り、機材の使用状況、整備状況を調査し、その正しい使用法について教えた。巡回先の病院ではカザフスタン人の温かいもてなしを受けた。
第107回 7月16日 (水) パラグアイ (式田正利)		「南米の楽園パラグアイ」 南米のヘソにあたるパラグアイは気候温暖でのどかである。家々の回りには一年中きれいな花が咲き、小鳥たちが飛び回っています。街を一步出ると、のどかな大牧場が広がり、牧草を牛たちがのんびりと食べています。草原には少しの林が残されており、暑い時、牛たちは涼しさを求めて木陰に集まり灼熱の太陽を避けて休んでいます。自然そのままの風景がどこまでも続いています。